

会 議 録(案)

会議の名称	令和 7 年度 第1回和泉市健康都市いずみ 21・食育推進会議
開催日時	令和 7 年 8 月 21 日(木)午後 1 時 30 分～3 時
開催場所	和泉市役所 庁舎第 1 分館 1 階 会議室
出席者 (敬称略)	【委員】 上嶋副委員長、井上副委員長、赤阪委員、三井委員、河原委員、藤野委員、橋本委員、西川委員、早崎委員、市川委員、久保委員、椎葉委員、阪下委員、新海委員、坂東委員 【事務局】 子育て健康部 藤原部長 健康増進担当 藤原課長、坂上総括主幹、勝田総括主査、岸上主任、新津主任、西田主事
会議の議題	1.委員長、副委員長の選出 2.第 4 次健康都市いずみ 21・食育推進計画について 3.第 4 次計画における各機関等の取組予定について
会議の要旨	1. 開会 2. 案件 (1)委員長・副委員長の選出 (2)第 4 次健康都市いずみ 21・食育推進計画について (3)第 4 次計画における各機関等の取組予定について ・令和 7 年度行政の主な取り組み予定 ・令和 7 年度食育合同事業の主な取り組み予定 ・令和 7 年度参画団体の主な取り組み予定 ・和泉市民健康まつりについて (4)その他 3. 閉会
会議録の作成方法	☐全文記録 ☒要点記録
その他の 必要事項	傍聴人:0人

審 議 内 容

1. 開会

- ・事務局より議事、資料、本日の流れの確認

2. 案件

(1) 委員長・副委員長の選出について

- ・設置要綱第 5 条の規定に基づき、委員長 1 名・副委員長 2 名の選出が必要。委員の互選により委員長に永田委員、副委員長に上嶋副委員、井上副委員が承認。

- ・副委員長より開会の挨拶(委員長が欠席のため)

今年度は「健康都市いずみ 21 計画」と「和泉市食育推進計画」を統合し新たに策定された「第 4 次健康都市いずみ 21・食育推進計画」のスタート年になる。計画のスローガンである「一人ひとりがめざす ウェルビーイングのまちいずみ」の実現をめざし、参画団体の皆様とともに専門性を活かした取り組みを実施していけたらと思う。また、この会議が和泉市民の健康増進及び食育推進につながるよう、活発な運営に努めてまいりたい。皆様方には、積極的なご発言と、会議の円滑な運営にご協力の程、よろしくお願いしたい。

(2) 第 4 次健康都市いずみ 21・食育推進計画について

- ・事務局より資料 3、資料 4 に基づき報告

第 4 次健康都市いずみ 21・食育推進計画は、新たな健康課題や社会情勢の変化に対応するため、健康都市いずみ 21 計画と食育推進計画を統合し、策定した。計画期間は、2025 年度から 2036 年度までの 12 年間とし、社会環境や経済情勢などの変化に対応するため、2030 年度に中間評価を実施する。基本方針は、基本方針 1「生活習慣病の予防」、基本方針 2「食育の推進」、基本方針 3「健康づくりと食育を支える地域力の向上」、基本方針 4「女性特有の健康課題解決」とし、この 4 つの基本方針を柱に取り組みを進めていく。また、計画の推進管理・評価をするため、毎年年度初めと年度末に本会議を実施する。年度初めの会議では、健康増進及び食育推進の具体的な取組計画を報告・共有し、その後各主体が 1 年間を通して取組を行う。年度末の会議では、活動状況の報告、成果・課題の共有や改善策の検討を行うこととし、PDCA サイクルを実施する。

(3) 第 4 次計画における各機関等の取組予定について

令和 7 年度行政の主な取り組み予定

- ・事務局より資料 5 に基づき報告

基本方針 1 においては、自殺対策計画に基づき自殺予防週間や自殺対策強化月間に集中的に啓発を行う。また令和 6 年度に設置した、こどもまんかセンターでの相談対応を実施等。基本方針 2 においては、保育幼稚園にてこどもの頃から食育の関心がもてるよう食事のバランスの大切さを伝えること等で食育を啓発していく等。基本方針 3 においては、ヘルスアップサポーターいずみと協働しイベントの企画活動支援等を行い地域活動への参加を推進する等。基本方針 4 については各学校への性教育や 20 歳以上を対象とした女

性向けの健康講座を令和 7 年度より実施等。

令和 7 年度食育合同事業の主な取り組み予定

・事務局より資料 6 に基づき報告

8 月 22 日に一人ひとりのウェルビーイングをめざして！食育講演会 ～噛むことと食育～実施予定。1 月に自ら体験できる食育について考えるイベントを実施予定。

令和 7 年度参画団体の主な取り組み予定

・各団体より資料 7 に基づき報告

〈医師会〉事務局より代理報告

- ・健康まつりを通じ、「健康チェック」の重要性を発信する。健康まつりでは、体脂肪・筋肉量測定・慢性腎臓病のクイズコーナーや講演会などを実施する。
- ・各種健(検)診を実施し、特に慢性腎不全(CKD)の早期発見・早期治療を推進していきたい。

〈歯科医師会〉

- ・歯周病健診については 20 歳から 70 歳までの 5 歳刻みの節目に個別検診を実施。
- ・口腔機能管理体制確保事業にて脳卒中患者等の入院患者に歯科口腔に関する専門的助言、病院スタッフの人材育成をしていく。
- ・高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施に関する事業ではオーラルフレイルについても指導していく。

〈薬剤師会〉

- ・健康まつりでは薬の正しい使い方、飲み方についてのクイズや相談ができるコーナーを実施する。
- ・たばこはゲートウェイドラッグといわれ、おくすり教室と薬物乱用防止教室を実施する。薬局では薬剤師より禁煙ひと声運動を 5 月-6 月実施した。

〈老人クラブ連合会〉

- ・5 月に第 23 回シニアグラウンド・ゴルフ大会を開催した。
- ・6 月に健康ウォークラリー大会を開催した。催しで元気をもらっている。仲間づくりが大事。

〈社会福祉協議会〉

- ・150 か所のいきいきサロンと子育てサロンに睡眠や健康増進にかかわる講話実施。
- ・総合福祉会館内で e スポーツを実施。高齢者も楽しめ、出かけるきっかけ作りになればよいと思う。

〈スポーツ推進委員協議会〉

- ・5 月春季ファミリー歩こう会。
- ・通年ニュースポーツ教室を市民体育館、コミュニティ体育館で実施。
- ・スポーツ推進委員として活動に参加してくれる人を募集している。

〈障がい者団体連絡協議会〉

- ・5 団体で構成している。

- ・視覚障害者福祉協会と連携し SS ピンポンに取り組む方向性で考えている。

〈商工会議所〉

- ・医師にいつでもメンタル相談をできる体制を作っている。
- ・各事業所に健康経営優良法人の取得の促進をしている。

〈地域活動栄養士会〉

- ・令和 7 年度放課後デイサービスにて食育の出前講座実施。
- ・健康まつりでは昨年度同様食育 SAT システムを用いて啓発を行う。

〈食生活改善推進協議会〉

- ・料理教室は壮年期・親子・男性にむけて年 3 回の実施。
- ・健康まつりでは塩分測定と食品カード釣り、野菜 350g 展示及び 1 日どれぐらいのタンパク質を取ったかわかるようなタンパク質カードを取り入れる予定。

〈いずみの農業協同組合〉

- ・体験料理教室、学校教育田、さつまいもの収穫体験、野菜レシピコンクールを実施。体験料理教室では、食生活改善推進協議会やいずみの里と連携している。
- ・ファミリー野菜レシピコンクールを実施。

〈いずみの里みそグループ〉

- ・いずみの農業協同組合と協同し若い世代 8 人の方と食育グループという団体を立ち上げ、2000 名程の小学 5,6 年生に米粉パン教室を実施。
- ・小学校で横山発祥の白味噌や金山寺味噌を作る体験を実施。
- ・老人クラブからの依頼で料理教室を実施。

〈和泉市私立幼稚園連合〉事務局より代理報告

- ・昨年度に引き続き、主に食育の取組を進めます。

〈民間保育園連絡協議会〉事務局より代理報告

- ・3 歳児はピーマンの種取りをしておやつのパザトーストのトッピングに使い、4 歳児は野菜の皮むきやお箸の持ち方を練習、5 歳児は旬の話や毎日の献立をひらがなで作成してクラス展示している。
- ・園内だけの活動で終わらないように、写真を使ってまとめ掲示している。

〈公立園長会〉

- ・子どもたちが育てた野菜を給食で出し食の大切さを伝えている。
- ・だしの取り方の工程を園児の前で見せ、保護者に共有している。
- ・献立のメニューを 3 色栄養列車で分けて掲示。

〈小学校長会〉

- ・いずみの農業協同組合と体験料理教室やいずみの里みそグループと菊菜パン作りなど団体の力を借りながら食育を進めていければ。
- ・給食の時間、食べるだけではなく自分たちで準備して片付けるといったことも大切にしていく。

〈中学校長会〉事務局より代理報告

- ・食育だよりの発行、和泉市給食レシピコンクールを実施。
- ・中学 3 年生には今までの給食人気メニューをレシピ集にして配布。

〈和泉保健所〉

- ・桃山学院大学の大学祭でアルコール・タバコ・ストレスのことをテーマに出展。
- ・和泉保健所管内の飲食店で V.O.S.提供店をパンフレットにして HP に記載・配布。

〈ヘルスアップサポーター〉

- ・ウォーキングイベント・クッキングイベントを実施。
- ・クッキングイベントで実施したレシピは書面に起こし他事業で配布。
- ・健康まつりではココロいずみダンスと握力測定をする予定。

〈市民委員〉事務局より代理報告

- ・市民委員として関係団体が健康・食育推進に向けた活動を計画されていることはよくわかった。市民(特に子育てから働き世代)が、身近に感じることは難しい状況とも思える。学校(子ども)を通じての周知はもちろんだが、講演会やイベントのほかに SNS や動画配信など、その世代が情報を得やすいような周知方法も検討いただきたい。

和泉市民健康まつりについて

- ・事務局より資料 8 を説明

【意見交換】

〈食生活改善推進協議会〉

社会福祉協議会と連携したので地域の方に出向く機会が増えた。また、いずみの農業協同組合が実施している料理教室にも調理補助として出向いてお手伝いしている。

〈和泉地域活動栄養士会〉

取り組み発表は、団体としてアプローチができていない世代を改めて考える機会となった。学齢期や青年期についてはコロナ禍以降活動がストップしており、他団体と協力しながら活動していきたい。

〈副委員長〉

第 4 次計画からは、健康づくりと食育に関する取り組みを総合的かつ計画的に推進していくことになっている。また、健康には生活習慣だけではなく地域の絆やつながりも影響すると言われている。地域全体で健康づくり・食育を推進していくためには、行政と団体など多様な主体と連携した取り組みが必要であると考え。フィールドを超えた連携をすることでより多くの市民に多様な啓発が期待できるので、引き続き、各団体の皆様の連携協力のもと各健康分野・食育推進に取り組んでいければと思う。

(4)その他

次回の会議は令和 8 年 3 月頃開催予定。

3. 閉会